

# みんなで登ろう房総の山50選

## 第一回 鹿野山～高宕山報告

[山城] 房総半島  
[山名] 鹿野山、鬼泪山、高宕山、八良塚  
[実施日] 10月4日日帰り 晴れ  
[参加者] CL 斎藤(一)記、広木夫妻、鶴田、菅井、今泉、吉瀬

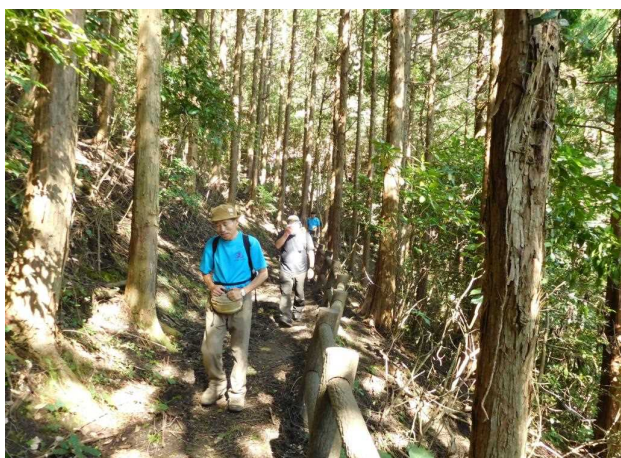
晴天の朝、千葉を六時に立ち乗員をピックアップしながら鹿野山へと館山道を南下する。鹿野山と聞くとマザー牧場を描くが、真の山頂は九十九谷公園前にある白鳥神社の奥に位置する。



実はここに来るのは初めてで、下調べをする前はマザー牧場に入るものと思っていた。八時早々に公園に到着し山行の支度を整えたが、先に準備をされた今泉、菅井両氏が神社から下ってきた。「あれ、どうしたの?」、声を掛けたら「山頂まで行ってきた」と。いくらなんでも早すぎると思ったが鹿野山(白鳥峰379m)は道路がかなりの高さまで来ていて、わずかに歩けば山頂であった。50選の山、まずは一つ目終了。残り49座、これは楽だと考えていたがそれはまだまだ浅はかだと後に判る。キックオフイベントがこの近くの10時に佛母寺にて行われるので、そちらに移動する。鶴田、吉瀬さんらも合流となる。県内各11団体の66名が集まり各会が如何にこのイベントに取り組むか、意気込みが伝わる集まりとなった。中にはバスを仕立てての会もありました。さて、まずは66人で鬼泪山へと向かう。林道を30分歩き山道へと分け入る。林の中の三角点を囲み、開



催記念の「バンザイ」と共にこの山頂から各会が放射状に分かれて歩き出した。元来た道に戻るのはちば山のメンバーのみ。それぞれ他のルート、山へと向かったようだ。我々は駐車場に戻り、高宕山～八良塚へとクルマ移動。豊英湖畔の登山口で昼食となるがコンビニをアテにしていた斎藤ほか幾人かは街の便利さに慣れきっていたようで、房総の山里は20年前と変わらず、便利は何処にでもあると云う考え方を換えねばならないようでアル事を実感した。残り物で腹を満たす。13時にここを出発。登山口から高宕山、八良塚分岐を皆で歩き出したが意外とたどり着かない。展望がない事と整備された柵が同じ道を歩く錯覚を創り、いつまでも着かない分岐に戸惑いだした。「千葉の山だから大したことはない、今日の4座もすぐ終わる」、どころではない。高宕山、八良塚でさえ両方登るには時間が掛かる。分岐で斎藤、今泉、広木組と鶴田、吉瀬、菅井組に分けてそれぞれ山頂を目指す。斎藤組は八良塚を目指したが以外に傾斜がきつい登りに一汗かいた。



展望が利かない塚を折り返し下山となる。鶴田組には我々より長く歩いてもらったが高宕山からの

眺めに癒されたようで気分良く下山されました。四時近くに全員揃い館山道を使いながら帰宅となった。館山道パーキングで空腹を満たし、ここで解散となる。

反省点として、下調べをして出かけましたが、詰めが甘かったように入る山のコースとクルマでの移動時間を組み立てて入山しなければ消化することも難しいと判り調べの重要性を感じた。また、出発前の準備(行動食等)を入念にすることで、時間のロスを防ぐことが出来たかもしれない。